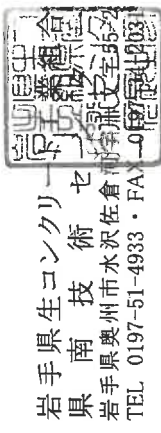


試験報告書番号 25-1173
発行日 2026年 3月 6日

骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）報告書



承認署名者・所長 山内 茂樹

顧客名称	有限会社 丸和工業
顧客住所	〒 025-0002 岩手県花巻市西宮野目9-171-3
試験方法	JIS A 1145:2022
試験条件	指定事項無し
受領年月日	2026年3月2日
識別番号	931-1
受入れ時の状態	気乾状態
試験採取年月日	2026年3月2日
試験品目	種類名 産地名 岩種名 川砂 花巻市石鳥谷町八重畑地内
備考	・記載事項無し

こちらは参照用です。
省庁へは原本をお使いください。

上記試験品目の試験結果は、下記のとおりであることを証明いたします。

試験年月日	2026年3月6日	試験実施場所	県南技術センター 計量室	
溶解シリカ量(Sc)の定量方法	原子吸光度法			
測定番号	1	2	3	平均値
溶解シリカ量(Sc) mmol/L	30	31	31	31
アルカリ濃度減少量(Rc) mmol/L	110	110	110	110
判定結果	無 害			
判定基準	* 判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。 a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を“無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を“無害でない”と判定する。 b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満でアルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を“無害”と判定する。 c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。			
備考	1. 本試験は、貴社の持ち込み試料により実施したものです。 2. 本試験は、全国生コンクリート工業組合連合会が、経済産業省の指導に基づき、当センターの「運営」、「設備」、「技術力」などを審査した結果、適正であると認められた『認定試験項目』です。			

注1) 本書の試験結果は、本書に記載した試料についてののみ有効です。

注2) 試験品目の「試料採取年月日」、「種類名」、「産地名」、「岩種名」は、顧客からの申告によるものです。

注3) 当技術センターの文書による承認なしでは、完全な複製を除き、本報告書の一部だけを複製することを禁じます。